

酒田・飽海大豆情報

令和8年8月20日
第4号

酒田農業技術普及課
TEL 22-6521

収量・品質向上のために！ 適期防除、大型雑草の抜き取り徹底！

I 生育量・開花期は平年並

管内では開花期が「エンレイ」で平年並、「里のほほえみ」で2日遅くなりました（下表）。

また、生育量については平年並みと見込んでいますが、8月に入ってから降水量が少なくなっています。開花期から莢伸長期にかけて土壌水分が少ないと落花・落莢につながり、着莢数減少による収量低下が懸念されます。土壌が乾燥し葉が裏返っている圃場では畝間灌水を行い、乾燥ストレスの軽減に努めましょう。

品 種	開花期（平年差）
エンレイ	7月25日（±0日）
里のほほえみ	7月29日（+2日）

II 紫斑病・マメシクイガの防除は適期に確実に！

最重要害虫のマメシクイガは8月25日頃に紫斑病との同時防除を実施します。
マメシクイガの産卵盛期を狙うのが効果的で、遅れずに防除を実施しましょう。

さらに、この10日後、卵からの孵化～若齢幼虫の莢への侵入前後に2回目の防除を行います。1回目2回目とも、早すぎず、遅すぎないよう適期に防除しましょう。 莢にも確実に薬剤が掛かるよう、丁寧に散布作業を実施してください。

水稻の収穫時期が近付いている時期の薬剤散布です。薬剤が水稻や他の作物に飛散しないよう、風向きに注意して慎重に防除しましょう。

III ダイズシストセンチュウに注意！

圃場全体は正常に生育しているのに、圃場の一部分で草丈が短く葉が黄化している場合、ダイズシストセンチュウの被害が疑われます。このような圃場がある場合は、被害の拡散を防ぐため、その圃場の全ての作業（今後の雑草抜き取り、収穫作業等）を最後に回しましょう。

IV 大型雑草の抜き取りと畦間雑草の除草徹底!

大型雑草や群生する畝間雑草は汚損粒の発生につながり、コンバインを詰まらせる等のトラブルを誘発しかねません。また、種子がこぼれると来年さらに発生が多くなります。種子がこぼれる前に抜き取るなど、収穫前に雑草対策を徹底しましょう。

群生する畝間雑草に対して除草剤を使用する場合、散布時期は大豆の落葉終期とし、収穫前日数などに注意するなど、使用方法を守って散布してください。

【抜き取りが必要な大型雑草の例】



オオイヌタデ



アメリカセンダングサ



オオオナモミ



イチビ

雑草が小さいうちに
早めに抜き取り!

繁殖を防ぐため
種子ができる前に!

V 農作業事故防止啓発運動実施中!

【事故を防止するために】

- ① 危険を予知しよう
- ② 携帯電話を持ち歩こう
- ③ 正しい服装で作業しよう
- ④ 体調に気を付けよう
- ⑤ 農業機械の使用方法を確認しよう

どんなに近くでも携帯し、ポケットから飛び出さないような工夫をする。

袖口やズボンの裾の巻き込みに注意! タオルは首に巻かない。

無理のない計画で作業し、気分が悪いと感じたら周囲に知らせる。

暑い日はできるだけ早朝・夕方に作業するなど、
熱中症予防を心がけましょう!